

表 技術革新・成長および規制改革タスクフォースによる主な提言内容(2021年6月16日発表)

成長分野	概要
金融サービス	フィンテックは英国の長期的な経済成長の主軸になるとし、成長と競争を促す環境整備を提案。このほか、金融サービスのデジタル化促進に向けて、オーストラリア政府にならったオープン・ファイナンス(注1)の義務化や、英国版「中央銀行デジタル通貨(CBDC)」の検討を加速し12~18カ月以内に試験運用を開始することなどを提案。
データ	AI(人工知能)や医療サービスのデジタル化などに向けて、データ流通のさらなる自由化と個人によるデータ管理の強化を両立する、GDPRに代わる英国独自の仕組み作りを提案。
臨床試験	臨床試験に関するEU指令やGDPRは英国の臨床試験事業の成長を阻害すると指摘。新型コロナからの復興における試験の成功、およびゲノム解析などにおける英国のリーダーシップに裏打ちされた、EU指令に代わる新たな臨床試験規制を設けることを提案。
デジタル医療	国民の生涯にわたる健康的な生活をサポートするため、アプリケーション開発から統合医療システム(ICS)の構築まで、デジタル医療分野支援に向けたAIなどのテクノロジー開発に係る規制方針の策定を提案。
エネルギー	2050年までに温室効果ガスの純排出量をゼロとする政府の目標に即した電力関連規制の見直しなどを提案。
輸送	デジタル技術、脱炭素化技術およびMaaS(注3)を組み合わせることで、輸送業に技術革新をもたらすことができると指摘。サンドボックス(注4)などの新たな枠組みを活用し、グローバルスタンダードとなるような規制構築を目指すことを提案。
宇宙・衛星技術	宇宙産業における潜在成長力の高さを指摘。宇宙産業法案の改正を通じて、同産業への投資促進に向けた制度設計を提案。
環境に配慮した農業	気候変動対応の観点から、EUの関連規制に比べより持続可能性の高い農業の発展を支援する枠組みの構築を提案。
栄養補助食品	急速に成長している同分野への投資を促進するため、同製品の定義や規制基準の明確化などを提案。

(注1)オープン・バンキング(注2)で共有されるデータにとどまらず、より包括的な金融サービスに関するデータを共有すること。

(注2)金融機関が保有する顧客データを、アプリケーション・プログラミング・インターフェース(API)を使って顧客と直接取引関係のない金融機関にも共有することで、新たな金融商品・サービスを生み出す取り組み。

(注3)複数の移動サービスを組み合わせ、個人の移動ニーズに合ったサービスを提供する方法。

(注4)新たな技術の実用化などが現行制度の下では困難な場合、規制省庁の認定の下で実証を行い、実証により得られた情報やデータを用いて規制の見直しにつなげる制度。

(出所)提言レポート(TIGRR)を基にジェトロ作成